

電子計算機センター学生スタッフによるオンライン授業支援

Microsoft 包括ライセンスに基づく Office365 の活用

Online Classes Support by Computer Center Student Staff: Utilization of Microsoft Office 365 Under Educational License Agreement

西出 なつみ^{*1}, 皆川 雅章^{*2}

Natsumi NISHIDE^{*1}, Masaaki MINAGAWA^{*2}

^{*1} 札幌学院大学人文学部

^{*1}Department of Humanities, Sapporo Gakuin University

^{*2} 札幌学院大学法学部

^{*2}Department of Law, Sapporo Gakuin University

Email: H190234@e.sgu.ac.jp

あらまし：2020 年度以降、全学的オンライン授業導入に伴い電子計算機センターでは、教職員とサポートデスク学生が協働し、教員や学生に対して支援を行っている。2020 年度、学生スタッフは、教員対象の講習会マニュアル整備、機器操作及び講義動画作成支援を行った。履修者に対し LINE 公式アカウントによるオンラインを支援した。2021 年度は Microsoft 包括ライセンスに基づき Office365 を活用してオンラインで ICT 利活用相談、教材作成支援を行った。

キーワード：オンライン授業、授業支援、Office365, Teams, OneDrive, 学生スタッフ

1. はじめに

本学電子計算機センター⁽¹⁾に設置されているサポートデスク⁽²⁾では、学内就業体験の一環として、学生スタッフが専任職員や専門職員(システムエンジニア)と連携を取りながら業務にあたっており、申請受付をはじめ、講義収録や映像教材作成などの業務を行っている。

2020 年度の全面的にオンライン授業導入に伴い、サポートデスクでは 3 名の遠隔授業支援チームを発足し、本学学生や教職員に対してオンライン授業に係る支援を開始した。1 つ目に、教職員と非常勤講師向け Moodle 講習会のサポート。2 つ目に質の高いライブ配信や映像収録が可能な教職員向けメディアスタジオの構築と整備。3 つ目に LINE 公式アカウントを活用した学生向けの相談受付である。⁽³⁾

2021 年度は、より柔軟な支援を可能にするためとして 2021 年度春より新たに開校した新札幌キャンパスに在籍する学生教職員への支援を行うために、Microsoft の Office365 を活用した遠隔での支援を新

たに開始した。

2. 本学の学習環境とそれに伴う支援課題

外的要因や新たな講義方式の導入によってオンライン授業の支援方法も変化する。2021 年度から一部の学部が新札幌キャンパスへ移転し、新たな状況に応じた柔軟な支援が必要となるが現在、学生スタッフが常駐しているのは江別キャンパスのみである。そのため、これまでの支援に加え、新札幌キャンパスに移転した学部の学生教職員への支援の充実が課題となり、その解決のため、遠隔に対応したサービスを検討した。

本学では学生、教職員共通で使えるツールとなっている Office365 を活用することとした。以下では、Teams によるオンライン相談受付、OneDrive を用いた教員とのファイル共有について記す。

3. Teams によるオンライン相談受付

学生スタッフによる相談窓口では、これまでに直接来訪、電話、LINE 公式アカウントでの相談に応じ

ている。相談者の状況を目視で確認できない場合、「状況共有の困難さ」の問題が生じる。

例えば、本学の必修科目コンピュータ基礎 A・B では、Word や Excel の課題に学生が各々取組む。この課題に関する相談を遠隔で受け、相談者から送られてきた課題ファイルをチェックし回答する方法では、一回のやりとりでは解決しないことが多い。そこで、開始したのが Teams のビデオ通話機能を活用した相談受付である。

これは画面を通して学生スタッフが直接に課題を確認でき、状況共有の困難さに基づく誤解を防ぐことができる。直接画面を共有し、確認しながら助言することができ、余分な手間を省ける。(図 1)。



図 1 オンライン相談時の画面共有

3.1 実績

2021 年 4 月から運用を開始し、実際の対応では画面共有を活用することでリアルタイムにより正確な支援を行うことができた。

上述の支援は、本来の対面方式に比べ、「やりにくい」という問題はあるが、画面を共有して確認できるため格段に支援を行いやすくなったと言える。

3.2 課題

課題は利用促進である。2021 年度の窓口対応状況の実績を見ると、Teams による相談は 5 回ほどであった。Teams 自体の利用機会が少ないことや「ビデオ通話」に苦手意識を持つ人が多いことが要因ではないかと考える。今後は相談事例を明示しつつツールの知名度を上げていく必要があると考えている。

4. 映像教材の作成支援

映像教材の作成支援は依頼者の教職員が持参した VHS や DVD のデータを mp4 形式ファイルに変換するという内容である。オンライン授業導入後、学生

が各自で動画を見る機会が増えたため、依頼が急増した支援の 1 つである。

4.1 OneDrive によるクラウド共有

従来、データの受渡しは依頼者側が持参した USB メモリ等を介する形で行っていた。多くの本数を依頼する場合、直接の受渡しは依頼者側の負担が大きい。そこで新たに OneDrive を活用したクラウド経由での受渡し方法を用意した。これは動画ファイルが完成次第、共有ができるため不備等もすぐに確認できる。作業に余裕を持って、受取りの手間も省ける。

4.2 実績

2020 年度からサービスを開始した。しかし、基本は原本を持参し、回収時に納品する形態をとっているため利用者は USB メモリによる受け渡しが多い。そのため、高頻度の利用者に対象が限られてくる。

4.3 課題

利用者は、クラウドよりも USB メモリ等を利用してデータの持ち運びを行なっている場合が多い印象を受ける。そのため、クラウド活用の利点を周知し、映像教材の受渡し以外の場合においても利用促進を図る必要がある。

5. まとめ

学生スタッフによる Office365 を活用した遠隔での支援事例を説明した。2022 年度は遠隔授業と対面授業の併用、新札幌キャンパス移転に伴い、更なる学習環境の多様化が予想される。2 年間で構築したオンラインによる支援の実績を生かして更なる利便性の向上を追求していきたい。

参考文献

- (1)札幌学院大学 電子計算機センター,
<https://densan.sgu.ac.jp/>, (参照 2022-02-04)
- (2)札幌学院大学電子計算機センター サポートデスク,
<https://supportdesk.sgu.ac.jp/>, (参照 2022-02-04)
- (3)三上雅人,皆川雅章:“電子計算機センター学生スタッフによるオンライン授業支援”,2020 年度 JSISE 学生研究発表会 (2021)